

『繻子の靴』

しゆす

上演のための
実践的研究

フランスの劇作家、ポール・クローデル(1868～1955)が大使として滞日中に完成させた『繻子の靴』は、「1日目」～「4日目」と名づけられた四部構成による戯曲です。

大航海時代の新旧両世界を舞台にした、若き人妻ドニャ・プルエーズと騎士ドン・ロドリックの、カトリック世界では許されない恋を描いた作品で、全曲上演すれば15時間を超える大作です。

昨年度より研究会および劇場実験を重ねてきた【近代日本語における〈声〉と〈語り〉】をテーマに、このフランス語韻文劇の伝統と日本の伝統演劇を意識し翻訳された舞台の日本語が実際に上演されるとき、どのような可能性が見えてくるのかを探ります。

同時に、【「マルチメディア・シアター」の再定義をめぐる研究】として、戯曲のもつ壮大な世界観を、映像／音／光という要素で追究します。この二つの成果を、ワーク・イン・プログレスとして上演します。

作 **ポール・クローデル**

翻訳・構成・演出 **渡邊守章**

映像・美術 **高谷史郎**

出演 鶴坂奈央 千代花奈 永井茉莉奈

音楽 原摩利彦

メディア・オーサリング 古館健

衣裳 清川敦子(atm)

所作指導 花柳綱仁

照明監修 岩村原太

照明 塩見結莉耶 木内ひとみ 川島玲子

劇場スタッフ 小坂部恵次 楳崎英三 小山陽美 神家洋志郎

入場無料・申込不要(全席自由)

15:00～16:00 解説 渡邊守章、浅田彰

16:00～17:00(予定) 『繻子の靴』 上演

1日目第5場(「聖母への祈り」)、2日目第13場(「二重の影」)・第14場(「月」)、
3日目第8場(「プルエーズの夢—守護天使」) より抜粋上演

2014/10/5 sun

start 15:00 (open 14:30)

京都芸術劇場 春秋座  (京都造形芸術大学内)

作品について

『縹子の靴』は、詩人・外交官で、大正年間に日本にも駐在したポール・クローデル (1868-1955)が、1925年に東京で書き上げた集大成的な戯曲で、「四日間のスペイン芝居」と副題された、リヒャルト・ワーグナーの『ニーベルングの指輪』四部作に匹敵する規模の「世界大演劇」です。新大陸のコンキスタドール(征服者)ドン・ロドリッグと、すでに人妻であった若いスペイン貴族の女性ドニャ・プルエーズとの間の、地上では結ばれることのない《禁じられた恋》を主筋にし、新旧両世界に展開される、文字通りの「世界大演劇」です。

タイトルの『縹子の靴』は、夫の守るアフリカの要塞へ出発する前に、館の門の上に祀ってある聖母像に、自分の片方の靴を捧げて、「悪へと走る時には、片方の足が萎えていますように」と祈る感動的な情景に由来します。「クローデル詩句」と呼ばれる長短入り混じる独自の自由詩形で書かれた台詞の迫力、その劇作術上の実験と並んで、演出面でも、世界の様々な舞台芸術を活用した極めて野心的な作品で、1943年のジャン＝ルイ・バローによる上演版の初演以来、二十世紀フランス演劇の一つの頂点と見なされています。



2014/10/5 sun start 15:00 (open 14:30) 入場無料・申込不要 (全席自由)

「縹子の靴」これまでの
関連上演

- 2008年7月
朗読オラトリオ『縹子の靴』上演(出演：野村万作・野村萬斎 他)
- 2014年3月
マルチメディアパフォーマンス『葵上／二重の影』として、
『縹子の靴』『2日目第13場』の「二重の影」を上演
(ダンスヴァージョン／出演：白井剛・寺田みさこ・東野珠実・茂山童司)

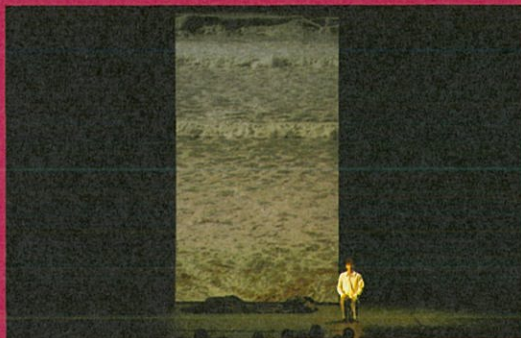


photo by Toshihiro Shimizu

渡邊守章

(演出家、フランス演劇研究／京都造形芸術大学 舞台芸術研究センター客員教授)

1933年生まれ。東京大学教授、放送大学副学長、パリ第三大学客員教授、東京大学名誉教授、京都造形芸術大学舞台芸術研究センター所長等を経て、現職。専攻は仏文学・表象文化論。演出家。演劇企画「空中庭園」主宰。2005年発行の訳書、クローデル『縹子の靴』(上・下)にて、毎日出版文化賞、日本翻訳文化賞、小西財団日仏翻訳文学賞受賞。春秋座では、2008年7月に朗読オラトリオ『縹子の靴』(野村万作・萬斎出演)を、2014年3月に『縹子の靴』『2日目第13場』の「二重の影」を演出。

高谷史郎

(マルチメディアアーティスト)

「ダムタイプ」の創設メンバーとして、パフォーマンスやインスタレーションの制作に携わり、映像、照明、グラフィックや舞台装置のデザインなどを手がける。個人としての活動も多く、近年のおもな作品に、2012年パフォーマンス「CHROMA」(びわ湖ホール、他)、2013年シャルジャ・ピエンナーレ(アラブ首長国連邦)、坂本龍一とのコラボレーションによるインスタレーション「water state 1」「LIFE - fluid, invisible, inaudible ... ver.2」(山口情報芸術センター)など。渡邊守章演出作品では、「マラルメ・プロジェクトⅠ～Ⅲ」(2010-2012年)、「二重の影」(2014年)の映像・美術を担当。

京都芸術劇場 春秋座

主催・お問合せ：京都造形芸術大学 共同利用共同研究拠点事務局(舞台芸術研究センター内)
Tel. 075-791-9437 (平日10時～17時) 担当：川原・塚本

〒606-8271 京都市左区北白川瓜生山2-116 京都造形芸術大学内

京都芸術劇場 検索 共同利用・共同研究のページをクリック

会場案内

- JR・近鉄京都駅、京阪三条駅、阪急河原町駅から京都市バス5番「岩倉」行き乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(京都駅から約50分、三条駅・河原町駅から約30分)
 - 京都市営地下鉄丸太町駅・北大路駅から京都市バス204循環に乗車、「上終町・京都造形芸大前」下車(約15分)
 - 京阪電車出町柳駅から叡山電車に乗り換え、茶山駅下車(徒歩約10分)
- ※駐車場はございませんので、お車・バイクでのご来場はお断りします。



白川通りから劇場1F(人間館1F)へは、瓜生館エレベーターをご利用下さい。